

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-G27

申請日	2021/12/2	承認日	2021/12/13	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日		承認者	印

SOX+Nivolumab	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
対象	HER2陰性の治癒切除不能な進行・再発胃癌・胃食道接合部癌 一次治療				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div,iv,po等)	投与スケジュール(日)												
			1	5	10	15	20	25	30						
オプジーボ(ニボルマブ)	360mg/body	div	○												
オキサリプラチン	130mg/m ²	div	○												
S-1	※	po(朝)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	※	po(夕)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース															

【投与処方例(前投薬など)】

*オキサリプラチン投与中は温罨法を行う。

*Nivolumabは、インラインフィルターを使用する。治療開始前に可能な限りPD-L1検査を実施。

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤】生理食塩液100mL+オプジーボ /div 30分
- ③ メイン【赤-1】5%ブドウ糖液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート4mg /div 30分
- ④ メイン【赤-2】5%ブドウ糖液500mL+オキサリプラチン+デキサート4mg /div 2時間

制吐剤セット処方④

Day2.3 デカドロン錠4mg 1錠(分1 朝食後)

*腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、S-1の投与量を変更すること

Ccr60~80mL/min 初回量より必要に応じて1段階減量

Ccr40~59mL/min 原則として1段階減量

Ccr30~39mL/min 原則として2段階減量

Ccr30未満は禁忌

※S-1の内服量

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量	1段階減量	2段階減量
~<1.25m ²	40mg/回	30mg/回*	25mg/回*
1.25m ² ≤~<1.5m ²	50mg/回	40mg/回	30mg/回*
1.5m ² ≤~	60mg/回	50mg/回	40mg/回

*SOFT試験における減量投与量であり、S-1の用法・用量外です。不均等指示などでS-1の用量を決定してください。また、S-1の最低用量は40mg/回が添付文書上になっている。

オキサリプラチンの投与基準

初回投与量	1段階減量	2段階減量
130mg/m ²	100mg/m ²	85mg/m ²

【治療開始基準】

観察/検査項目	開始基準
---------	------

白血球数	$\geq 3000/\text{mm}^3$
好中球数	$\geq 1500/\text{mm}^3$
血小板数	$\geq 75000/\text{mm}^3$
AST、ALT	$\leq 100\text{IU/L}$
血清クレアチン	$< 1.5\text{mg/dL}$
感染	感染を疑う38°C以上の発熱なし
下痢、口腔粘膜炎	Grade ≤ 1
神経障害(感覚性)	Grade ≤ 2

参考文献: ATTRACTION-4試験

Boku N, et al.: Ann Oncol. 30(2): 250-258, 2019